



## 第10回 野下青空市 ご協力ありがとうございました！



炭の販売



手作りそば等の販売



かんだご、ねったぼ等の販売

2月21日(日)第10回野下青空市を開催。初めての体育館での開催で客の入りを心配しましたが、天気にも恵まれ大盛況でした。前日の雨で駐車場のグラウンドの状態も気がかりでしたが、水はけもよく事故等なく無事お帰りいただけたと思います。地区の皆さんの協力の賜物です。いつもありがとうございます<(\_)>



竹ボウキの販売



10時販売開始。売り子さんも大忙し。



うどんの仕込み

体育館周りのテントの中では、主に火気を使って商品を提供してもらいました。焼きいもの火おこしは、まだ誰もいない早朝からでした。約3時間後の来客に備えて早出でした。



蜂蜜の販売



ツイストパンも順調に販売。パンが焼けるまでは売り子さんもおしゃべりタイム(^\_^)



焼きいも



焼きもち



窯に入れる檜の木が準備できました。窯に入れる順番に積み上げてあります。



窯の天井も隙間なく詰めました



窯の入り口まで詰めました。

炭焼き事業(窯入れ)は、積雪のため1週間延期の1月31日(日)に実施。窯の中は全部檜の木でした。

窯出しは、2月14日(日)雨天の中、テントを張って作業開始。檜の質の良い炭が取れました。



青空市の案内看板を2月13日(土)に設置。朝から雨でしたが、この時間は雨が上がりました。



窯の入り口の焼けた状態



窯の中央部の焼けた状態



木酢液を容器に詰める作業



炭の箱詰めと計量



かなり時間を費やした炭のカット作業

青空市の準備として毎週、出てきてもらいました。お疲れございました。

「弥生」は、もともと  
くさきいやおいつき  
「草木 弥生月」を略した言葉で、  
「ますます」とか「いよいよ」を意味する  
いや おい  
「弥」と、「生い茂る」意味を持つ「生」  
が合体したものだ。多くの植物が生長  
する頃なので、このように  
名づけられました。

「おはぎ」? 「ぼたもち」?  
季節の花にちなんで秋のを『お萩』  
春のを『牡丹餅』といわれています。

# 3月

や よい

## 弥生

『草もち』  
ひな祭りは「草もちの節句」とも  
いわれるように、草もちはひな祭りに  
欠かせないものになっています。  
古くは母子草が使われ、後によもぎを  
使って作るようになりました。母子草とよ  
もぎは薬草で、邪気を祓う魔よけの効果  
があると信じられてきました。

“春分” 二四節気のひとつ。  
昼と夜の長さが同じになる日。また、この頃  
自然や生き物を大切にしようという日